

ばら色の研究

と

前編



十七 喰らふさみ



少女がいる
あの
薔薇屋敷へ…

…あのつ

これ！

見て、
ほしくて…

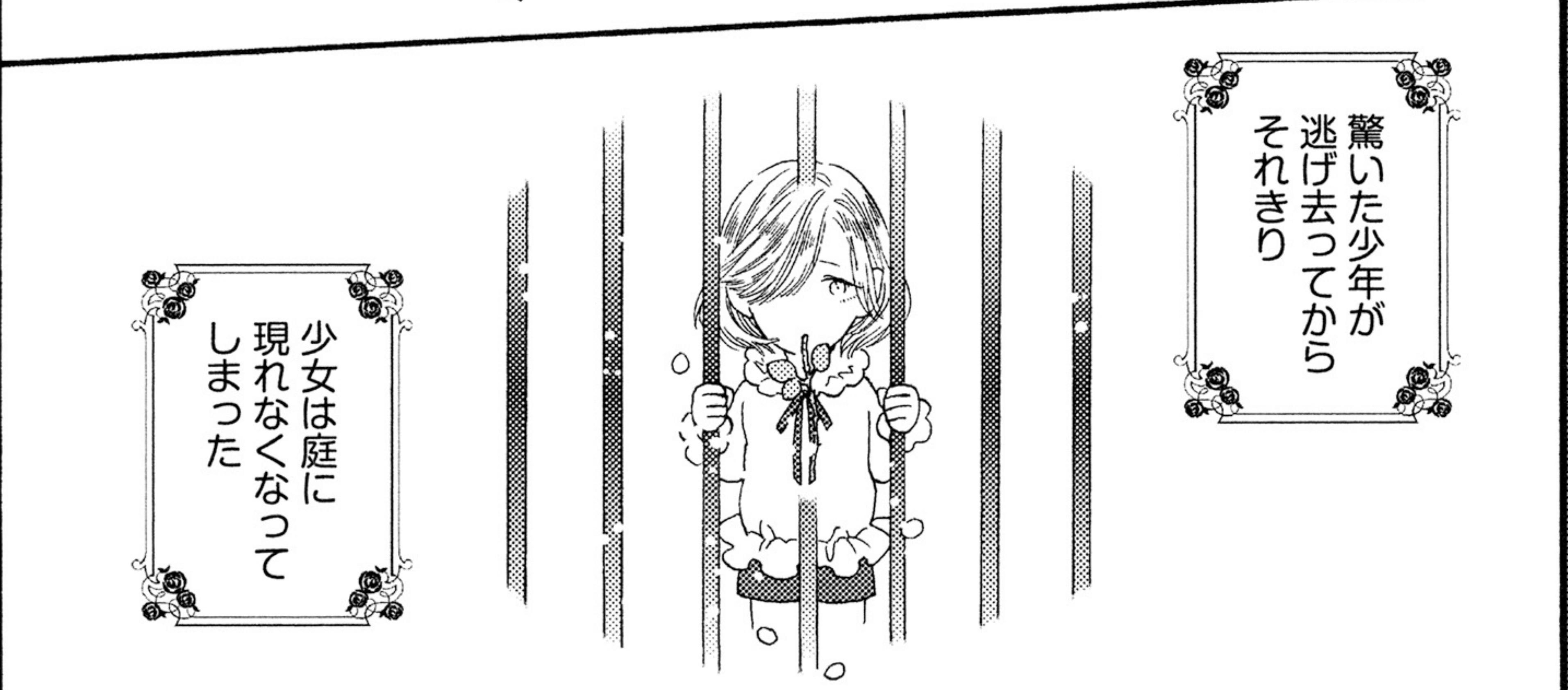
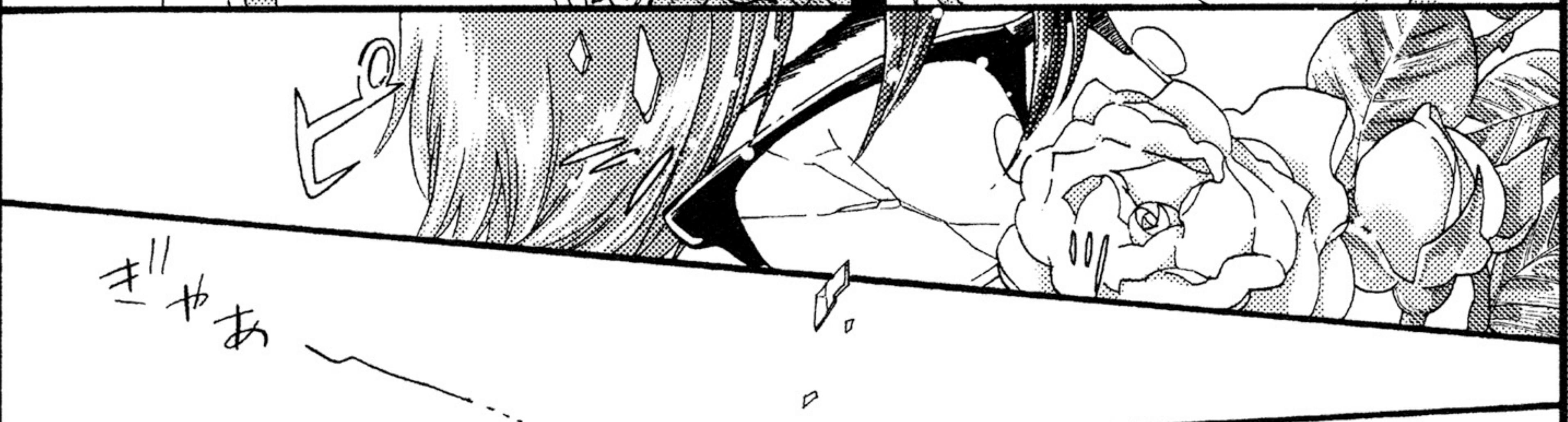
…まだ、
未完成なんだ

君の
ために…

…でも、
いつかきっと、

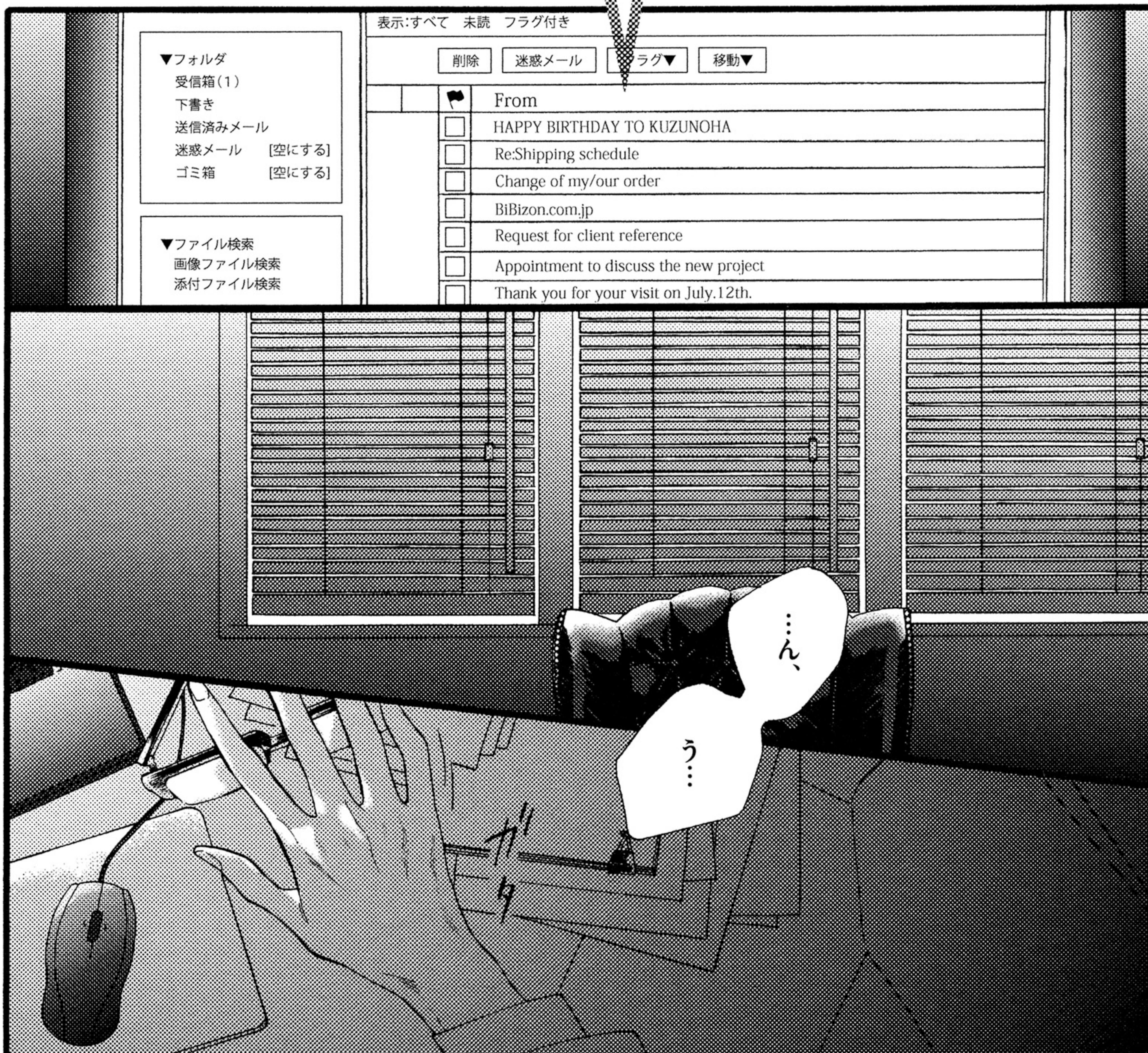
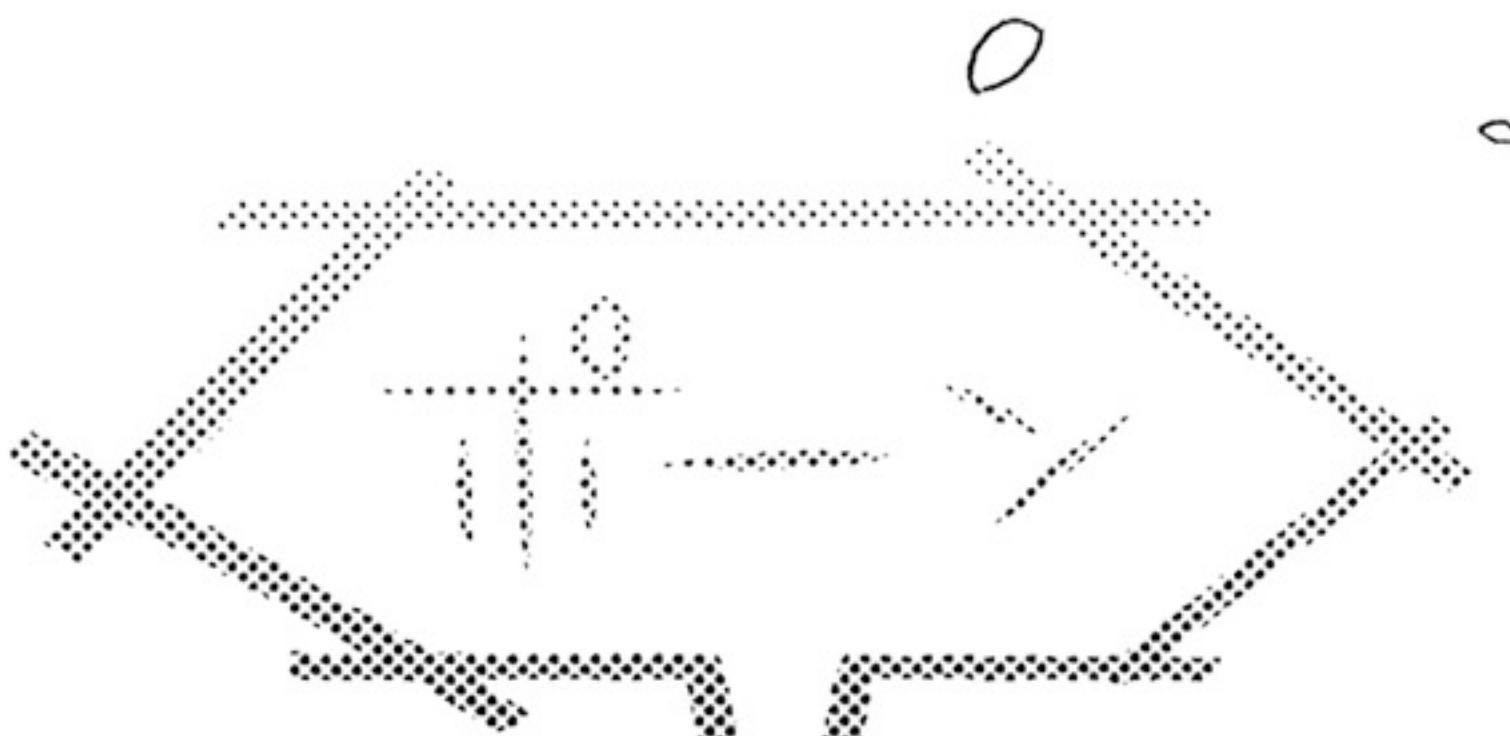
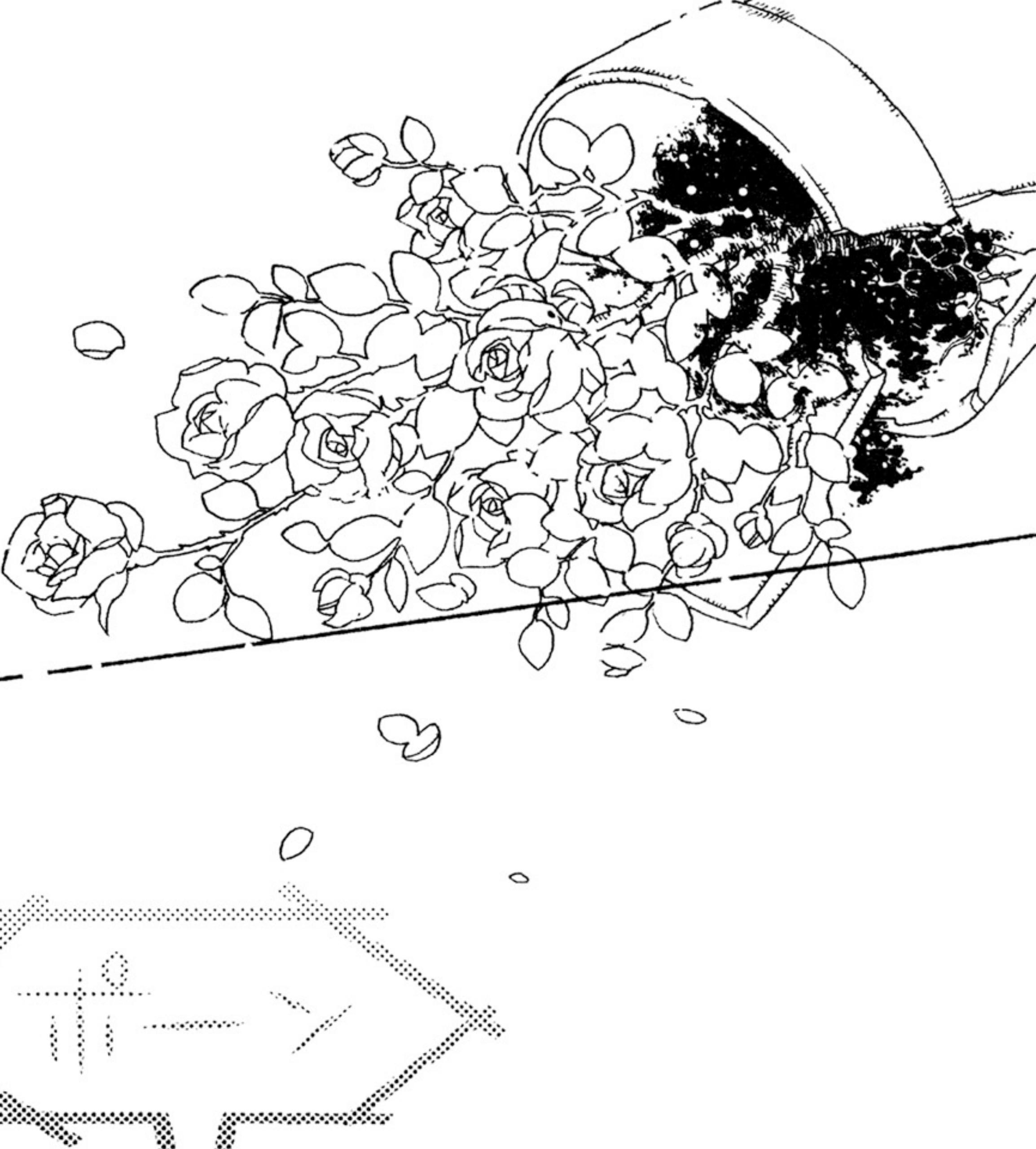
…きれい

きらきら
してて
いいにおいて…



悪戯に用日は過ぎた
...
何も聞けずに
何も言えずに

小さな恋を
打ち明けることも
何故薔薇を
食べたのかも





研究資金の提供が
打ち切られて
からは

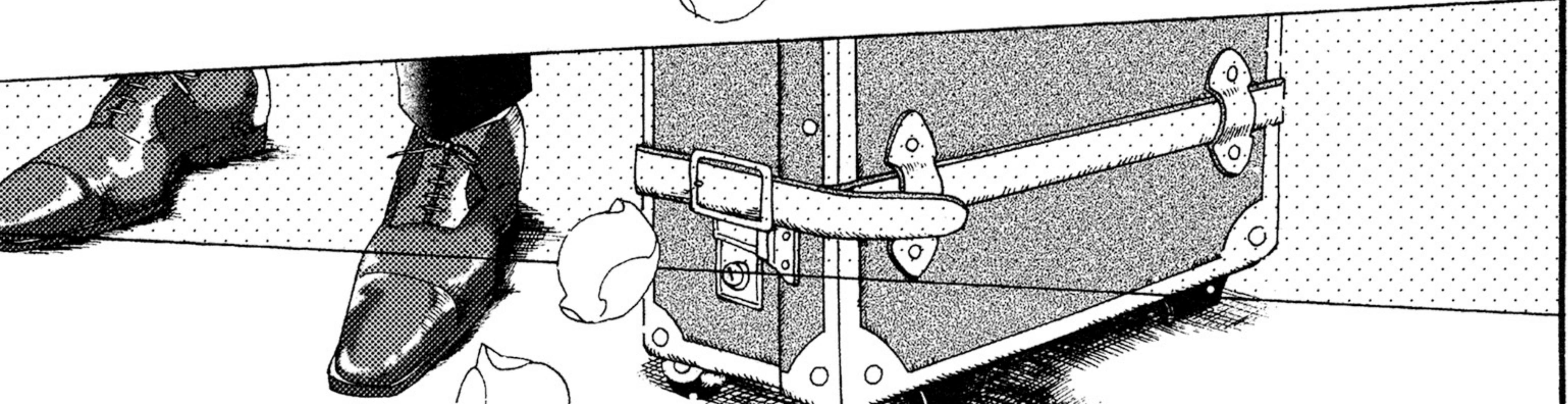
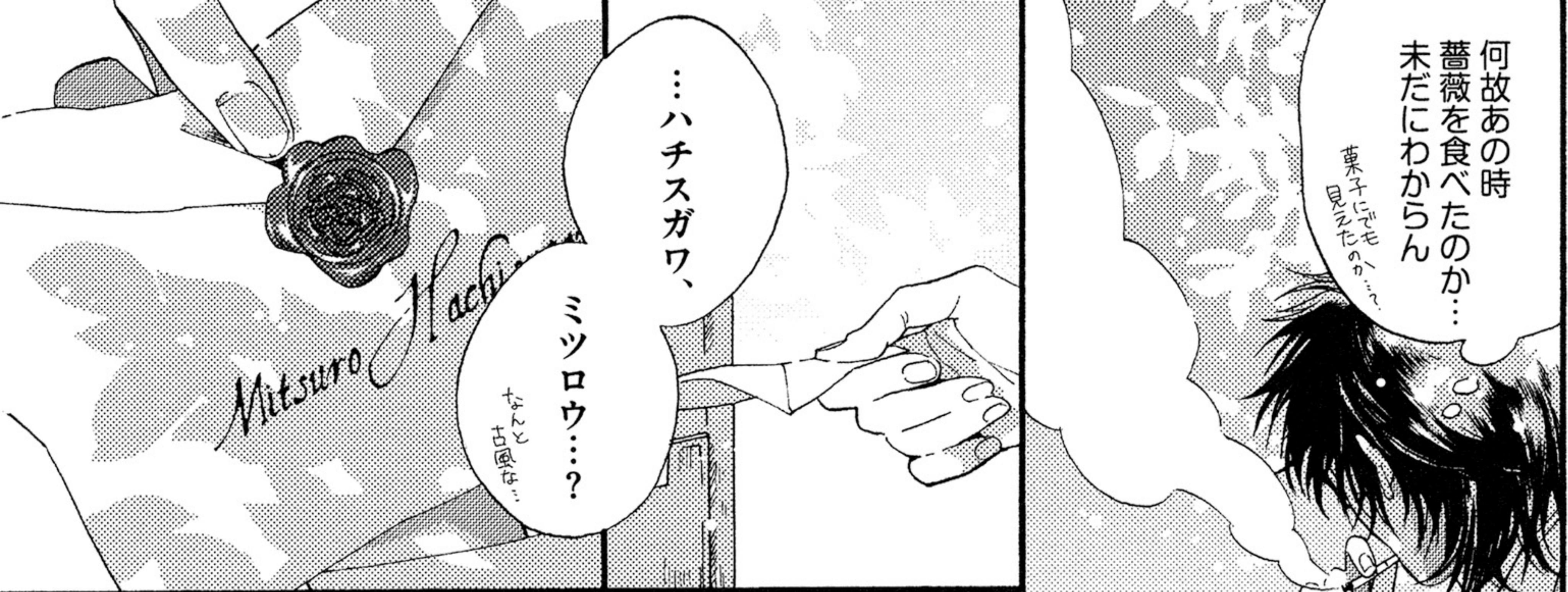
自費で研究を
行つてきただ

資金も底をついてきた

あの子は今頃、

どうしている
だろうか……

潮時、か……



何故あの時
薔薇を食べたのか…
未だにわからん

菓子にでも
見えたのか…



